



1388 6年「1年間の振り返り」3/2

- 成長したのは単元まとめノートです。6年が始まったばかりは8点だったけど、後半は9点を続けてとれるようになりました。Aさん
- まとめノートを最後までていねいに書いて8点とれました。積極的に意見を出すことができました。Bさん
- この6年間の最後が、こんな形（新型コロナウイルス）によって終わるとは悲しいです。Cさん
- 自分の予想に理由も言えるようになりました。間違いを直すだけでなく、どんな間違いをしているのか知るようにになりました。Dさん
- 理科で自分はすごく植物が好きになりました。Eさん
- 班での意見の出し合いで意見が言えました。Fさん
- 中学校で同じ問題が出たら間違えずに全問正解したいです。Gさん
- 協力してする問題を正解することが多くなりました。Hさん
- 単元まとめノートを1cmマスで書いていたところは最大で5点しかとれなかったけど、5mmマスに変えたら点が伸びて、今では8点を5回とりました。Iさん



枯葉を食べて、そうじする ダンゴムシ



死んだダンゴムシを分解して、土にかえすカビ。

- 「人は、人だけでは生きていけない」ことが、分かりました。命をそまつにははいけません。Jさん
 - 単元まとめノートでは色を使ってきれいにまとめられました。自分で予想と理由を言えるようになれました。うれしかったです！Kさん
 - 単元まとめノートは、字をたくさん書いたらぐっと点数が上がりました。でも字がいっぱいで見にくかったので、スペースをあけたり、色をつけたりして見やすくしました。Lさん
 - 身近なものの仕組みを知ったり、たくさんの疑問が出てきたりして楽しかったです。Mさん
 - 去年は7点ばかりだったけど、今年は8点以上を毎回とれるようになりました。Oさん
 - 理科で成長したことは、班の協力で自分の意見を言えるようになったことです。Pさん
- ★ 「送る会」で、6年生の単元まとめノートをほめる言葉がありました。思ったより、その数が多かったのが驚きました。しかし、6年生が下級生に夢を与えてくれたと感じました。



1389 5年「1年間の振り返り」3/2

- 「調べる条件」と「そろえる条件」の問題が苦手でした。今は、よくできるようになりました。Aさん
 - 昔から人のたんじょうが気になっていました。知ることができてよかったです。いくら無精卵ができるのか知りたいです。Bさん
 - 理科の先生が変わっても、まじめにがんばります。発表も積極的にできるようになりました。Cさん
 - 3～4年に比べて、理科の授業で発表できるようになりました。ノートを書くのが早くなりました。Dさん
 - 今年は、みんなで協力することがたくさんできました。実験する時は、みんなで仲よくできました。Eさん
 - 実験ができるようになりました。ぼくは、そういうのが嫌いでしたが、理科のおかげで少し好きになりました。Fさん
 - ぼくは理科が一番とくいな授業でした。でも田中先生がいなくなるので、とても悲しいです。田中先生がいなくなってもがんばります。Gさん
 - 「予想して、確かめて、結果を出す」というのが、おもしろかったです。予想が当たっているとうれしいし、違っていると驚きがあって楽しいです。話合いのよさがよく分かりました。話合いがとてもおもしろくなりました。Hさん
 - 最初は自分の意見を言えなかったけど、今はたくさん意見を言っています。Iさん
 - 初めは、まとまりがなくて叱られていて、ぜんぜんだったけれど今はまとまっているので、いいなと思います。Jさん
 - 話合いの時に、自分から意見を言うことができました。Kさん
 - 一番楽しかったのは「水の働き」です。べっこうあめが、とってもとっても楽しかったです。Lさん
 - まとめノートを期限までに、きれいに仕上げ、提出することができました。Mさん
 - この一年間で、理科への関心が高まりました。いっぱい書いたり、発表ができてたりしました。Nさん
- ★ ○○さんの提案で、5年生は「みんなで、みんなが満点テスト」を復活させました。落ちついて学び合いができました。平均点は2組が2点上で勝ち。最後の問題は、両クラスとも意見が分かれたようですが、正解率は1組が勝ち。

